

# 転勤

## 人生が大きく変わった

ある日突然、見知らぬ地への転勤を言い渡されたらどうするか。場合によっては家族と離れ離れの単身赴任もありうる。慣れ親しんだ生活環境が大きく変わることにちゅうちょする人は多いだろう。しかし、転勤をきっかけに新たな人生が開かれたと話す人もいる。福岡市出身の権藤貴代子さん(53)は、東京転勤を機に、趣味だった「花」を商品開発につなげた。二十一日からは初の個展を福岡市内で開く。当時、転勤に踏み切らせたものは何だったのか。

(川口安子)

### 権藤貴代子さん

21日から  
福岡市で個展

医療関連会社の福岡市  
の営業所に勤めていた十  
一年前、四十二歳のとき  
に突然東京転勤を言い渡  
された。権藤さんの職種

は事務で、転勤は想定外  
だった。「関係法律が変  
わり、事務に必要な資格  
が変わったんです」。転  
勤か、退職か。決断を迫  
られ頭が真っ白になった  
が、気付くとその場で転  
勤を承諾していた。  
権藤さんは「それまで  
はどこかに行くなんて考  
えたこともなかった」と  
振り返る。転勤を打診さ



皿とボウルでドライフラワーを密封した独自の作品  
「クリスローゼ」を前にした権藤貴代子さん

◇権藤さんの個展は、21日—25日、福岡市中央区の「galerie de h (カフェドアッシュ併設ギャラリー)」で開かれる。入場無料。HP=<http://www.hana801.jp/>。

## ドライフラワー 才能開花

務という仕事にやりがい  
は感じるが、二十年間内  
容は変わらず、形は残ら  
ない。独身で子どももい  
ない。「今思えば、マン  
ションを買ったのも自分  
を安心させたかったから  
だと思っ」  
そんな中、突然の転勤  
話は気持ちに大きな波紋  
を広げた。不安があった  
が、自力では捨てきれな  
い安穩とした環境から一  
歩飛び出すための一筋の  
光にも思えた。  
東京に転居した権藤さ  
さんは、仕事の傍ら新た  
にドライフラワーの一種、  
ポトルフラワー作りを学  
び始めた。それがきっかけ  
となり、二〇〇三年に  
はその技術を応用して独  
自の商品を考案し、副業  
として通信販売なども始

めた。やっと「形」に残  
る花を見つけた。  
権藤さんは今、思っ。  
「たぶん、福岡にもポト  
ルフラワーの  
教室はあった  
と思う。でも、  
福岡にいたこ

**生活**  
ファクス:092(711)6243  
メール:bunika@nishinippon.co.jp

のころ生け花教室に通い  
始め花の魅力を知った。  
「自分を太陽だと思っ  
た。仕事が終わった後  
に市のセンターで教える  
ほどになった。  
「でもね、形に残らな  
いのよ」  
せっかくなしく生けた  
花も、時がたてば枯れて  
ゆく。それは生活すべて  
において同じだった。事  
ろの自分はそれを探そう  
とも思わなかった」。東  
京に行ったからというよ  
り、自分自身が変わろう  
と決意したことで道が開  
かれたのだ、と。  
今、転勤を考えている  
人に対して、権藤さんは  
メッセージを送る。「迷  
っているなら、勇気を出  
して一歩踏み出すのよ